

映像事業

KAVC CINEMA 「ニューヨーク、ジャクソンハイツへようこそ」

ニューヨークがニューヨークであるために、なくてはならない町の今。 巨匠フレデリック・ワイズマンが描く“町ドキュメンタリー”の傑作

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、KAVC CINEMA にて、「ニューヨーク、ジャクソンハイツへようこそ」を上映する運びとなりました。

ニューヨーク、クイーンズ区北西に位置するジャクソンハイツは、ニューヨークはもとより、アメリカでも最も多様性に満ちた町です。世界中からの移民とその子孫が暮らすジャクソンハイツでは、167もの言語が話され、マイノリティが集まり、多様な食文化や音楽があふれています。そんな町のアイデンティティが危機に瀕しているとしたら？

監督のドキュメンタリーの巨匠、フレデリック・ワイズマンは、アメリカを様々な角度から見つめる傑作を数々発表し、世界で最も偉大なドキュメンタリー作家と称され、2014年ヴェネチア国際映画祭で金獅子賞（特別功労賞）を、2016年アカデミー賞名誉賞を受賞しています。そんなワイズマン監督の真骨頂と言うべきアメリカ社会を捉えた作品が日本で劇場公開されるのは本作が初めてとなります。

教会、モスク、シナゴーク、レストラン、集会、コインランドリー。

地域のボランティア、セクシャル・マイノリティ、不法滞在者、再開発の波にのまれる商店主たち。

ジャクソンハイツのあらゆる場所や人に向けられるワイズマンの徹底した視線からは、さまざまな人間、社会や歴史が見えてきます。変化に直面し、時に憤りながら互いの悩みを話し合い、決して希望を諦めないジャクソンハイツに生きる市井の人々の姿からは、ニューヨークとは？ アメリカとは？ といった、問いが浮かび上がります。「この国の素晴らしさは多様性にある。様々な才能、様々な人種や文化を我々がアメリカにもたらした」作品の中で語られる言葉は、社会問題や差別など異なる国で生きる私たちにも通じる問題を問いかけます。

長年にわたってアメリカを観察し、記録し続けてきたワイズマン監督の面目躍如たる“町ドキュメンタリー”の傑作をこの機会に多くの方にご覧頂ければ幸いです。

つきましては、本作品をぜひ貴社媒体にてご紹介頂きたく、情報掲載のご協力を頂けますようお願い申し上げます。何とぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

「ニューヨーク、ジャクソンハイツへようこそ」

(2015年/アメリカ・フランス/189分)

配給：チャイルド・フィルム、ムヴィオラ

監督：フレデリック・ワイズマン

上映期間：2/2(土) - 2/15(金)※火休

2/2(土) 17:05、2/3(日) 13:50

2/4(月)~8(金) 15:05 ※5(火) 休

2/9(土) 13:50、2/10(日) 17:05

2/11(月・祝)~14(木) 10:45 ※12(火) 休

2/15(金) 17:05

料金：一般1700円、学生1400円、シニア1100円

※かぶっクラブ会員割引、障がい者割引適用あり



(C) 2015 Moulins Films LLC All Rights Reserved

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（担当 大泉）

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356